

# 結城紬における縫取り技法を使った多色デザインの開発

担当部所 : 栃木県産業技術センター 紬織物技術支援センター

## 背景

結城紬では、模様は緋柄により表現されているが、緋柄は地色(緋箇所以外の色)によって目色(緋の色)や色数がある程度限定される。また、緋柄は一定の柄の繰返しにより作製されるため、特定の場所に模様をつけることが難しく、デザインの種類が制限される。産地では織り方や染色加工技術を工夫することで、新たなデザインを取り入れようと試みている。

そこで本研究では、地機織りに縫取り技法を取り入れ、新たなデザインの結城紬の製織を目的とし、縫取り技法での製織方法の検討及び多くの色が隣り合うデザインを有する結城紬の帯の製織に取り組んだ。

## 研究目標と結果

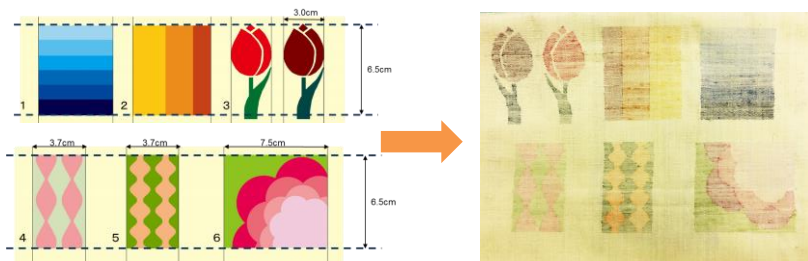
### 研究目標

- 地機織りに縫取り技法を取り入れ、複数の色使いや柄の配置を工夫し、新たなデザインの結城紬の帯の製織を行う。

### 実施内容

#### ① 複数の色系を使用した縫取り技法の製織方法の検討

帯を製織する前に試し織りを行い、縫取り技法で表現できる柄や使用する色、糸の太さ、織り密度等を検討した。



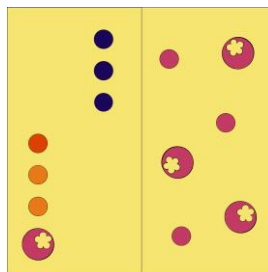
試し織りに使用した図案



製織した布地

#### ② 帯の縫取り用図案の作成

試し織りでの結果を参考に、帯の模様には10色を使用した。製織時に裏になっている面を表として仕立てるため、図案は左右反転させ、製織の際に必要な基準線や縁取り線をいれた。



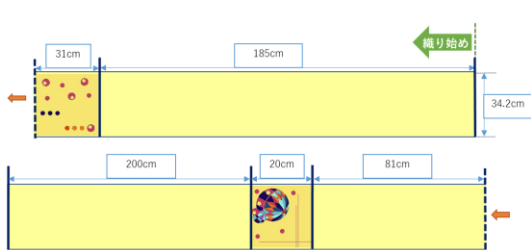
前胴部分



お太鼓部分

#### ③ 帯の製織

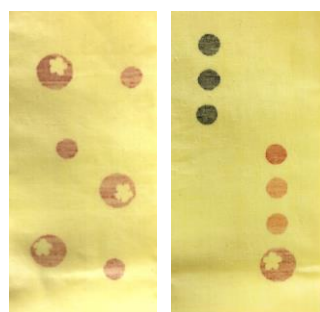
今回は特定の部分のみに柄のある名古屋帯を製作するため、柄の位置を決める設計図を作成し、その寸法を基に製織を行った。縫取り糸は、経糸の裏側から透かせた図案の模様に合わせて挿し織り込んでいった。



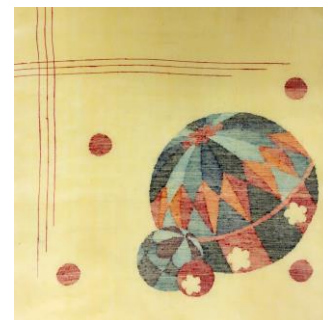
帯設計図



縫取り部分の製織時の様子



織り上がり: 前胴部分



お太鼓部分

## まとめ

- 多くの色が隣り合うデザインでも縫取り技法により製織することができ、随意の場所に柄を配した結城紬の帯を製作することができた。

## ご来場の皆様へ

問い合わせ先: 栃木県産業技術センター 紬織物技術支援センター TEL 0285(49)0009

- 本研究で製作した結城紬の帯は、当センターでご覧いただけます。
- 結城紬産地での製織、デザイン支援に関する技術力向上が期待されます。

